

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【選定委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
----	---

評価日：平成27年11月20日

評価対象期間：平成27年4月1日～平成27年9月30日

評価項目		評価視点	評価区分
1	施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか 	良
2	利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか 	可
3	施設運営の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか 	良
4	情報の管理・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか 	可
5	災害時、緊急時に備えた危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか 	良
6	団体の能力を活用した活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で構成された団体の特性を活かした活動を行っているか 	可

【所管課の総合評価】

- (1) 地域の方々とのコミュニケーションを図るため、園児を対象とした抹茶体験会の実施や、地域住民に積極的に声を掛けて独居老人を対象とした茶話会を行うことで、地域のコミュニティーづくりの場として機能している。
- (2) 5人の管理人がこれまで培ってきたノウハウを生かし、自主事業の実施、館内の清掃活動や花壇整備を行っていることは、指定管理者ができる特筆したことである。また、施設周辺の雑草の処理など、管理人1人では難しいことも5人で計画的に行うことで、迅速な対応ができています。
- (3) 年2回消防署の指導のもとで消防訓練を実施し、危機管理意識を強く持ち、有事に備えた活動を積極的に行っている。また、AEDは常に廊下から見える場所に設置し、簡単な図で示したマニュアルと一緒に保管することで、緊急時に慌てず対応ができるように日頃から備えている。施設の利用者だけでなく、近隣住民の緊急時にも対応しようとする意欲がみられる。

【選定委員会の意見】

- (1) 協定書及び仕様書、事業計画書に基づいた管理運営がなされており、所管課の評価を承認する。
- (2) 限られた指定管理料の中で経費の削減に努めながら、利用者が気持ち良く利用できるよう配慮している点は、他の町民センターと比較して評価できる。
- (3) 積極的に自主事業を行いきらい事情があるなかで、地域の団体や住民に声かけを行い、地域のコミュニティーづくりに努めている点は評価できる。
- (4) 町当局は、町民センターへの指定管理者制度の導入が適当であったのかどうかを含め、今後の町民センター全体の利・活用や管理方法についての基本的方向性を検討していただきたい。